

「時を守り 場を清め 礼を尽くす」

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより
9月6日 第9号
文責 校長 山下



第2学期がスタートしました。夏休み中大きな事故等もなく、全員元気に登校できたことを本当に嬉しく思います。

2学期は、爽りの秋と言われるように、気候的にも過ごしやすい、いろいろな行事等を通して子供たちの大きな成長が期待できる学期です。コロナ禍なので、行事の中止や延期、規模縮小等があるかもしれませんが、可能な限り実施したいと考えています。

1日の始業式では、1年の川脇隆誠君、2年の山内鈴葉さん、3年の堀翔馬君が2学期の決意をしっかりと述べました。特に、3年の堀君からは、「一日一日を大切にしたい。」という最高学年としての思いが伝わりました。私からは、さつきやま魂「自主」の精神で、2学期に意識して実践してほしいことについて次のような話をしました。

「時を守り 場を清め 礼を尽くす」を実践してほしい。これは、教育学者の森信三氏の言葉で、私たちの学校生活や社会生活にとっても、とても大切な3原則です。

『時を守り』とは、文字通り、時間を守ることです。時間を守るとは、相手の時間を大切にすることで、結果として相手を尊重することになり、自分の信用を積み重ねることに繋がります。学校生活では、2分前着席を実践してください。『場を清め』とは、掃除、そして整理整頓をすることです。掃除や整理整頓をする意味は、「1. 気づく人になれる。2. 心を磨く。3. 謙虚になれる。4. 感動の心を育む。5. 感謝の心がめばえる。』ことで表されます。学校生活においては、くつを並べることが意識して実践してください。

『礼を尽くす』とは、挨拶や返事をする事です。挨拶は、相手の人に心を開くことで、よりよい人間関係を築くための基本となります。人とのコミュニケーションは挨拶から始まります。生徒会が中心となって1学期から取り組んでいる挨拶4箇条のさらなる取組を期待します。・・・」



「はきものをそろえる」

各階のトイレに、「はきものをそろえる」という藤本幸邦さんの詩が掲示されているのを見たことがあると思います。

「はきものをそろえると心もそろおう」というフレーズから始まるこの詩からは、いろいろなことを考えさせられます。

朝、登校後下駄箱の靴を並べながら、「一日の始まり」を実感し、トイレで、「次の人のことを考え」ながらスリッパを並べる。下校時には、「今日一日を振り返り」ながら靴を並べる。私は、はきものをそろえることができる人は、今の自分を冷静に見て、自分の心を磨くことができる人だと思えます。また、周りのことを考える余裕があり、感謝の心を身に付けている人でもあると思います。

私自身も、そのような人になりたくて、意識してはきものをそろえるようにしています。

はきものをそろえる

はきものをそろえると心もそろおう
心がそろおうとはきものもそろおう
ぬぐとぎにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえてあげよう
そつすればきつと
世界中の
人の心もそろおうでしょう

藤本幸邦

感染症対策について

2学期が始まり、全国的に子供たちへの新型コロナウイルス感染拡大が懸念されています。もちろん五島市内においても同様で、本校でも1学期以上の感染対策を行ってまいります。主な感染対策は次のとおりです。御家庭でも御協力をお願いいたします。

- ・三密の回避(常時換気、1m以上の間隔等)
- ・休み時間(この手洗い)
- ・ドアノブ等の毎日消毒(特に水回りは丁寧に)
- ・確実な健康観察(風邪症状の生徒は自宅休養)
- ・飛沫を飛ばさない座席配置(給食時も含む)
- ・部活動中止(駅伝を除いて12日まで)
- ・教職員(の体調管理(毎日の検温等)・・・

「ダブルレインボー」

8月9日の朝、校長室からふと外を見ると、虹が出ていた。よく見ると、一重になっている。調べてみると、「ダブルレインボー」と言うらしい。この二重の虹は、珍しい天体現象で、見ること自体が実に幸運なことだそう。主虹と副虹で構成され、虹の色が主虹と副虹では逆になること。願い事が叶うサインということもわかった。もっと早くわかっていれば

